

【会議結果報告】 平成30年度 第1回 雲仙市総合計画等審議会

日 時	平成30年 7月 9日（月）15：00～16：30
場 所	雲仙市役所 3階 第1～第3会議室
出 席 者 （順不同）	竹下委員、百崎委員、楠田委員、川上委員、松田委員、深尾委員、絹中委員、 土井委員、池田委員、中村委員、宮崎委員、町田委員、関委員、力野委員、 寺尾委員、山口委員、岩永委員、境川委員、富岡委員、佐々木委員、奥津委員、 小森委員、酒井委員（委員7名欠席）
事 務 局	総務部 政策企画課
概 要	【概要】 （1）委員委嘱 ・市長より委嘱状を交付。 （2）雲仙市総合計画等審議会について（概要説明） ・雲仙市総合計画等審議会の概要 （3）雲仙市総合計画等審議会委員の取組内容について（概要説明） ・雲仙市総合計画等審議会委員の役割 （4）その他 【主な意見】 ・第2次雲仙市総合計画が平成29年度を始期としているとしても、基準年を平成26年度としているのであれば、平成26年度から平成28年度の各成果指標は把握し、本審議会に提出すべき。 ・移住についても、本市の実績はあまり芳しくないのではないかと？ ・人口減少問題について地元（自治会等）で話をしても、あまり危機感がないように見受けられる。市民に啓蒙する必要がある。 ・提出されている資料について、空欄が多い。 委員として、考察する時間的猶予はない。危機感を持って現状把握に努めて欲しい。 ・資料はできるだけ字を大きくし、早めに欲しい。 ・ここ2年間で子育てはしやすくなった。 「2人目から完全に保育料が無料になったこと」が良い例。 ・産後ケアの「助産師の訪問」について、訪問回数増やすべき。 ・実際はもっと子どもがほしいが、仕事の都合などで難しいとの話を聞くとある。経済的な支援と環境的な支援を総合的にできないか？ その話をこの審議会ですれば、出生率の向上も十分見込めると思う。 ・雲仙市内には小児科と産婦人科がない。相談できるドクターが近くに必要である。